

令和8年度 通信教育実施計画						
松陰高等学校（本校／各学習センター）						
教科		科目	単位数	履修上の留意点		
理科		生物	4			
指導 目 標	(1)日常生活や社会との関連を認めながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
	教科書		副教材等		添削指導	
	生物				12回	
	多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無		☐ 実施している ☒ 実施していない	多様なメディアを利用した学習 による減免後の面接指導時間数		該当なし
添削指導（レポート）						
回	学習内容				対応する 面接指導の回	提出期限
1	生命の起源と細胞の進化				1	5月13日
2	遺伝子の変化和進化のしくみ				2	5月13日
3	生物の系統と進化				3	6月6日
4	細胞と物質				4.5	6月6日
5	代謝とエネルギー				6.7	7月4日
6	遺伝情報とその発現				8	8月1日
7	発生と遺伝子発現				9	10月21日
8	遺伝子を扱う技術				10.11	10月21日
9	動物の刺激の受容と反応 動物の行動				12	11月11日
10	植物の環境応答				13.14	11月11日
11	個体群と生物群落				15	1月20日
12	生態系の物質生産と物質循環 生態系と人間生活				16	1月20日
回	単元・課題	学習内容		実施場所	実施日	
1		共通性と多様性をつなぐ進化、生命の誕生について理解させる。		各学習センター	4月	
2		生物の多様性と地球環境の変化について理解させる。		各学習センター	5月	
3		遺伝子的変異について理解させる。 種分化について理解させる。		各学習センター	5月	
4		生物の系統について、基本的な知識を理解させる。 人間の出現と変遷について理解させる。		各学習センター	6月	
5		細胞を構成する成分や細胞の構造について理解させる。		各学習センター	6月	
6		タンパク質の構造について基本的な知識を理解させる。 酵素としてはたらくタンパク質、生命現象とタンパク質について理解させる。		各学習センター	7月	
7		代謝とエネルギー（呼吸、発酵、光合成）について理解させる。		各学習センター	7月	
8		DNAの構造について基本的な知識を理解させる。		各学習センター	8月	
9		原核生物・真核生物の遺伝子発現の調整について理解させる。		各学習センター	10月	
10		動物の発生について理解させる。 遺伝子を扱う技術について理解させる。		各学習センター	10月	
11		遺伝子や細胞を扱う技術の課題について理解させる。		各学習センター	10月	
12		動物の刺激（興奮・刺激）について理解させる。		各学習センター	11月	
13		動物の行動について理解させる。		各学習センター	11月	
14		植物の環境応答について理解させる。 生物群落の成り立ちと多種の共存について理解させる。		各学習センター	11月	
15		生態ピラミッドについて理解させる。		各学習センター	12月	
16		今後の生態系と人間生活について考察する。		各学習センター	1月	
多様なメディアを利用した学習						
計画段階では実施予定なし						
試験						
回数	試験範囲			実施場所	実施日	
1	レポート1～6			各学習センター	9月	
2	レポート7～12			各学習センター	2月	
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準						
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。						
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。						
その他						
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。						